基本計画第1次案（歩くまち，土地利用と都市機能配置，景観，道と緑）への意見及び意見に対する審議会の考え方（案）

1 寄せられた御意見の内訳

- ・ 第1次案と同趣旨の意見 44件
- ・ 第2次案に反映している意見 97件
- ・ 第1・2次案に反映していない意見 20件
- ・ その他 15件

2 御意見の要旨と御意見に対する考え方

歩くまち

◆ 第1次案と同趣旨のもの

御意見の要旨(括弧内は主な具体的提案)	御意見に対する考え方
観光都市として歩けるまちにしてほしい 1件	「基本方針」の中で，クルマを重視したまちとくらしを，京都にふさわしい「歩く」ことを中心としたまちとくらしに力強く転換していくために，市民・事業者・行政が一体となって「歩いて楽しいまちづくり」を推進することとしております。
市民・事業者・行政が協力して歩くまちをつくっては 4件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地での自家用車抑制や駐車場利用者への課税 ・ テレビ番組と公共交通機関とのコラボ等歩いて楽しい観光づくりを ・ 車を減らして安心して歩けるまちに 	「みんなでめざす10年後の姿」の1つ目において，歩く魅力にあふれるまちやひとりひとりが歩くくらし（ライフスタイル）を大切に，交通行動スタイルを見直す市民と一体となった取組が定着し，過度なクルマ利用の抑制を目指すこととしております。 また，市民・事業者・行政の一体となった取組により「歩くまち・京都」の実現を目指しております。
利用しやすい公共交通の充実を 7件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい発想，工夫による公共交通の拡充を ・ 子どもや老人，子連れ，妊婦も乗りやすい公共交通を ・ 大量輸送ができる大型連結バスを運行しては ・ 公共交通・自転車・徒歩の選択ができる交通システムの構築を ・ 観光都市にするなら歩行者天国や路面電車を 	「みんなでめざす10年後」の姿の2つ目において，ユニバーサルデザインの進展，使いやすい公共交通の構築や新たな公共交通の整備，需要に応じた輸送力をもった公共交通の整備が進んだまちの実現を目指すこととしております。

<p>自動車交通の適正化を 7件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パークアンドライドの実施を ・ 車両の市内中心部からの排除を ・ バスの渋滞を解消してほしい ・ 観光シーズンの混雑した交通をスムーズに(山科区三条通等) ・ 自動車の交通量が多く、騒音と排気ガスがまちの美しさを損なっている 	<p>「みんなでめざす10年後の姿」の4つ目において、自動車利用の抑制策が定着し、自動車交通の効率化と適正化が図られたまちの実現を目指すこととしております。</p>
<p>地下鉄・市バスの経営改善を 4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バスの利便性を損なわないよう、適正な運行間隔に ・ バスをすべてトロリーバスに ・ 地下鉄通勤を促す ・ 地下鉄の維持費や照明、エスカレーターなどの節約を 	<p>「みんなでめざす10年後」の姿の5つ目において、地下鉄の増客とともに、更なるコスト削減に取り組むことで地下鉄・市バスの一層の経営改善を図ることを目指すこととしております。また、地下鉄を基軸としたまちづくりについても位置づけをしております。</p>
<p>自転車を活かしたまちづくりを 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車にやさしいまちに 	<p>「みんなでめざす10年後の姿」の6つ目において、自転車利用環境の整備及び利用マナー・ルールの確立を推進することにより、まちの美しさや歩きやすさを実感できるまちの実現を目指すこととしております。</p>

【意見要旨にある具体的な御提案内容については、具体的に事業等を進める中で検討すべき意見と考えます。】

◆ 第2次案に反映しているもの

御意見の要旨(括弧内は主な具体的提案)	御意見に対する考え方
<p>利便性の高い交通システムの構築を 7件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市バス、地下鉄乗車券の共通化を ・ 運賃支払いをICカードでできるようにしてほしい ・ 地下鉄、市バス、民営バス等の乗り放題フリーチケットを考えてはどうか ・ 市街地と車依存型周辺部との連絡を ・ 鉄道駅の新設を ・ 奈良線、山陰線の複線化を 	<p>推進施策1において、市内で運行するバス、鉄道の交通事業者等のネットワークの構築など、更なるバス・鉄道の利便性向上施策について記載しました。</p>

<p>地下鉄・バス運行の充実を 8件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下鉄の増発を ・ 誰もが利用しやすいバスネットワークの構築を ・ 市バスの夜間運行時間の延長を ・ よるバスや小型バス, 100円循環バスの運行路線の充実を ・ スポーツ施設等公共施設や駅を結ぶバス交通の充実を 	<p>推進施策1において、市内で運行するバス、鉄道の交通事業者等のネットワークの構築など、更なるバス・鉄道の利便性向上施策について記載しました。</p>
<p>快適で便利な公共交通環境を進めるべき 13件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨宿りができるようなバス停の整備を ・ 外国人も含め、誰もがわかりやすい交通案内表示を ・ 地下鉄のトイレを美しくしてほしい ・ 地下鉄市役所前駅のエスカレーターを掃除してほしい ・ 市バス車内を美しくしてほしい ・ 地下鉄構内に椅子を増やしてほしい ・ 地下鉄利用マナーの向上を 	<p>推進施策1において、快適、便利に利用できる公共交通の利便性向上施策の推進について記載しました。</p>
<p>黒字化を図り、財源を高齢者・障害者福祉へ 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客、市民の乗客で黒字化を図り、高齢者・障害者タクシーの割引財源に 	<p>推進施策1において、更なるバス・鉄道の利便性向上施策やバリアフリー化の推進や効果的な情報提供策について記載しております。</p>
<p>新しい交通手段のつくってはどうか 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ベロタクシー未来の交通手段に 	<p>推進施策2において、地域特性を踏まえた新しい公共交通の実現について記載しました。</p>
<p>公共交通や周辺環境の魅力アップを 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集客のため、ゼスト御池を烏丸御池駅に接続しては 	<p>推進施策4において、駅ナカビジネスの充実について記載しました。</p>
<p>地下鉄の本数減や沿線の発展などの工夫を 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昼間の本数を減らしたり、沿線に産業を発展させるなど工夫すべき 	<p>推進施策4において、地下鉄の利便性向上や沿線での土地利用転換などにより、地下鉄の経営改善を図ることを記載しました。</p>
<p>公共交通利用者への商店、観光施設、駐車場の割引を 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下鉄、市バス利用者増加のため、商店、観光施設、駐車場の利用者割引を 	<p>推進施策「4 地下鉄の魅力向上とまちづくりへの更なる活用」において、市バス・地下鉄の利用促進の取組を進めることを記載しました。</p> <p>(御提案の具体的な内容については、既に一部実現されています)</p>
<p>自転車が利用しやすい環境づくりをすべき 22件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レンタサイクルネットワークをつくっては ・ 自転車道路の整備を、自転車が走る道の幅を、歩道も合わせたネットワークづくりを ・ 駐輪場の整備、増設を、駐輪場料金を安く 	<p>推進施策5において、自転車通行環境の整備に向け、歩行者と自転車が安心・安全に通行できる自転車道などの自転車通行環境の整備に向けた道路環境整備の推進や自転車利用者の利便性の向上につながる効率的・効果的な駐輪場の整備の</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車乗車時のルールを徹底を ・ 京都を自転車のモデル都市に ・ 自転車シェアリングの推進を ・ 自転車ゾーンの設置を ・ 市内全域を放置車両禁止区域に ・ 市営駐車場の上限駐車料金をバイク 200 円に ・ 駅前駐輪場の無料化を 	<p>推進、自転車利用マナー・ルールを遵守するよう、市民一人ひとりが問題意識を持つことが可能となるような啓発の推進について記載しました。</p> <p>なお、駐輪場の料金体系については、今後、事業を進める中で検討すべきであると考えます。</p>
---	--

【意見要旨にある具体的な御提案内容については、具体的に事業等を進める中で検討すべき意見と考えます。】

◆ 第1・2次案に反映していない意見

御意見の要旨(括弧内は主な具体的提案)	御意見に対する考え方
<p>運賃値下げ等による地下鉄・市バス利用者の増加を図るべき 4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運賃値下げが必要 ・ 運賃を値下げし、一律料金に 	<p>「みんなでめざす10年後の姿」の5つ目において、地下鉄、市バスの旅客数の増加、コスト削減とともに地下鉄・市バスの一層の経営改善が図られた姿について記載しております。</p> <p>御提案の具体的な内容については、こうした方向性に沿って、今後事業を進める中で検討すべきと考えますが、運賃値下げによる減収に見合う増客効果を見込むことは困難と聞いており、地下鉄・市バス事業の厳しい経営状況の中では、非常に難しい問題と考えます。</p>
<p>地下鉄延伸を計画通りに、駅構内の広告の増加を 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下鉄延長は計画通り進め、駅構内の広告増加や等間隔運転等の工夫を 	<p>「みんなでめざす10年後の姿」の5つ目において、地下鉄、市バスの旅客数が増加し、コスト削減などの効果とともに地下鉄・市バスの一層の経営改善が図られた姿について記載しています。</p> <p>御提案の具体的な内容については、既に実施されているものもあり、今後事業を進める中で更に検討すべきと考えますが、地下鉄の延伸などについては、京都市の地下鉄事業及び一般会計の厳しい財政状況、また、現行の国における地下鉄建設の補助制度を考えますと、実現は困難と言わざるを得ません。</p>
<p>地下鉄などを更に整備してほしい 6件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下鉄の西伸を ・ 地下鉄洛外環状線整備を ・ 東山地域での地下鉄整備を ・ 必要とされる地域での地下鉄整備を 	<p>推進施策1において、地下鉄の利便性向上について記載しております。</p> <p>御提案の具体的な内容については、今後事業を進める中で検討すべきと考えますが、地下鉄の延伸などについては、京都市の地下鉄事業及び一般会計の厳しい財政状況、また、現行の国における地下鉄建設の補助制度を考えますと、実現は困難</p>

		と言わざるを得ません。
地下鉄構内を美しくしてほしい 〔 ・ 構内にごみ箱を設置してほしい 〕	1件	推進施策4において、地下鉄自体の魅力を高めると記載しておりますが、地下鉄駅構内のごみ箱については、警察・国土交通省からの指導により、テロ対策として設置を最小限にしており、「市民生活の安全」の観点から、現在の方針を今後も継続すべきと考えます。
急行電車通過駅を設置してほしい 〔 ・ 急行電車通過駅の設置による運行時間の短縮を 〕	1件	推進施策1において、地下鉄の利便性向上について記載しております。 御提案の具体的な内容については、今後事業を進める中で検討すべきと考えますが、都市内交通機関である烏丸線の路線の特性から見て、メリットが少ないと思われることや、線路・信号設備等に莫大な費用を要することから、実現は非常に困難と考えられます。
自転車から公共交通機関利用の誘導を 〔 ・ 自転車走行マナーが悪く、自転車税を課税し公共交通機関への誘導を 〕	1件	推進施策5において、「歩くまちにふさわしい自転車利用の促進」を掲げており、歩行者と自転車が共存できるまちづくりを目指しており、自転車を排除するものではないと考えます。
地下鉄・市バスを民営移管や交通事業者の段階的統合を進めるべき	2件	「みんなでめざす10年後の姿」の5つ目において、コスト削減などの効果とともに地下鉄・市バスの一層の経営改善について記載しています。 御提案の内容については、市においては、本年3月に地下鉄・市バス事業の新たな経営健全化計画を策定し、両事業ともに、公営企業の形態を維持したうえで経営改善を図っていくことが最良の方策であると、市会の議決を経て方針決定されています。
観光力アップのため地下鉄施設の整備を 〔 ・ 京都駅でのエスカレーターの設置を 〕	1件	推進施策4において、地下鉄自体の魅力を高めると記載しております。 御提案の具体的な内容については、今後事業を進める中で検討すべきと考えますが、出入口へのエスカレーターの設置については、新たな用地の確保など大規模な改修が必要と聞いており、その実現は非常に困難と考えられます。
地下鉄駅の自販機はムダではないか 〔 ・ 地下鉄駅の自販機は電気代のムダでは 〕	1件	推進施策4において、駅ナカビジネスの充実などにより、地下鉄の魅力向上や経営改善を図ると記載しております。 地下鉄駅の自販機設置により、相当の増収と利便性向上が図られたと聞いており、今後も御提案

	の観点も踏まえながら事業展開を図っていくべきと考えます。
--	------------------------------

土地利用と都市機能配置

◆ 第1次案と同趣旨のもの

御意見の要旨(括弧内は主な具体的提案)	御意見に対する考え方
地域特性に応じたまちづくりを 3件 ・ 市街地偏重の計画のため周辺部市民に疎外感を与える ・ 美しい風県を残すため市街化調整区域の拡大を ・ 洛西ニュータウンの自然環境を活かし子どもから高齢者が住めるまちに	「基本方針」において、地域ごとの特性を生かすための多彩で個性的な土地利用の展開を図る旨を記載しており、市街地以外の地域においても魅力ある地域づくりを進めていきたいと考えます。 また、都市を効率的に経営する視点から、さまざまな都市活動を持続的に展開することのできる都市を実現することとしております。
にぎわいのある空間づくりを 3件 ・ 御池地下街など喜びゾーンを創成すべき ・ 烏丸通を京都のメインストリートとして位置づけ沿道環境整備の促進を ・ 京都に性風俗の店舗は不要	「みんなでめざす10年後の姿」の2つ目において、京都の都心軸である烏丸通りを含む田の字地域において、広域的な商業機能等が集積し、にぎわいのある魅力的な界わいが形成されることにふれており、市内のさまざまな地域における個性豊かで魅力的なまちの創出を目指すこととしております。
南部地域が活気あるまちに 1件 ・ 企業進出を促し産業地帯として活気あるまちに、南部の企業や工場数がわかる指標の設定も	「みんなでめざす10年後の姿」の3つ目において、らくなん進都をはじめとする南部地域が、京都の新たな活力を担う地域として、最先端のものづくり企業の本社・研究開発・生産機能の集積がさらに進むとともに、快適かつ魅力ある都市環境が形成されている地域になることを目指しております。 なお、政策指標につきましては、ご意見も参考にして、適切な指標の設定を検討すべきと考えます。

〔意見要旨にある具体的な御提案内容については、具体的に事業等を進める中で検討すべき意見と考えます。〕

景観

◆ 第1次案と同趣旨のもの

御意見の要旨(括弧内は主な具体的提案)	御意見に対する考え方
美しい景観づくりを 3件 ・ 町家や長屋等の伝統と新しい便利な建物との両立は難しいのでは	「みんなでめざす10年後」の姿の1つ目において、これからの日本の景観を先導する品格のある優れた町並み景観が広がることを目指すこととし

<ul style="list-style-type: none"> ・ 制限が多い。四条や京都駅付近は商業・観光都市として発展させるべき ・ 雅ですっきりしたまちに 	<p>ております。</p> <p>市においては、地域ごとの特性を反映させ、建築物の高さやデザイン基準による規制、眺望景観の保全に取り組んでおり、歴史都市・京都の魅力や価値を高めながら、品格ある都市として、両立するものと考えます。</p>
<p>バランスの取れた屋外広告物の整備を 2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色や大きさの要件が緩和された広告物活用地区を設定してほしい ・ 全ての地区で広告物の色を規制することは子どもの感性を育む上でマイナス 	<p>市においては、京都らしい落ち着いた色合いを求める地域から、まちの賑わいを創出するため比較的自由度を高めた地域まで、その地域ごとの特性に応じた基準をきめ細やかに定め、規制と誘導を行っている現状があります。</p> <p>「みんなでめざす10年後の姿」の1つ目において、これまでの取組を進めることで、屋外広告物の整備がさらに進み、今後、品格ある優れた町並み景観が広がるまちになることを目指しています。</p> <p>これらの取組が進み、子どもたちの景観や色彩に関する感性が育ち、世代を超えて伝えられることで、歴史都市・京都の魅力や価値がさらに高まるものと考えております。</p> <p>また、単一分野だけでなく、複数の行政分野を「融合」し、特に優先的に取り組むべき事項である「重点戦略」の一つに、「歴史・文化都市創生戦略」があり、景観や風土の保全と活用や、文化の継承と創造などに関係する行政分野が連携し取り組み、都市の品格と魅力を高めていくこととしています。</p>
<p>町家などの保存を 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町家を残してほしい ・ 町家職人の建造技術、空家を活かした町家銀行等ができないか 	<p>「みんなでめざす10年後の姿」の3つ目において、これまで京町家が蓄積してきたくらしや空間、まちづくりの文化が継承・発展されているまちを目指すこととしております。</p> <p>今後とも、京町家の保全・活用をするためには、伝統的技術の次世代への継承、地域の景観を構成する重要な要素となる建造物の保全への財政的支援等の取組が必要と考えます。</p>

【意見要旨にある具体的な御提案内容については、具体的に事業等を進める中で検討すべき意見と考えます。】

◆ 第2次案に反映しているもの

御意見の要旨(括弧内は主な具体的提案)	御意見に対する考え方
---------------------	------------

<p>電柱をなくして美しいまちに</p> <p>6件</p> <p>〔 ・ 電柱の地中化を 〕</p>	<p>推進施策4において、主要な幹線道路や歴史的建造物等の保全が特に必要な地域等において、市民・事業者・行政が連携した無電柱化の推進について記載しました。</p>
<p>建物デザインの誘導を</p> <p>2件</p> <p>〔 ・ 建造物の統一を ・ 伝統のものを使うよう補助（表彰など） 景観施策を徹底すべき 〕</p>	<p>推進施策2において、歴史的景観と調和する品格のある市街地景観を形成するため、建築物等に対するきめ細かなデザイン規制による誘導や質の高いデザインの建築物への誘導や顕彰について記載しました。</p>

〔意見要旨にある具体的な御提案内容については、具体的に事業等を進める中で検討すべき意見と考えます。〕

◆ 第1・2次案に反映していない意見

御意見の要旨(括弧内は主な具体的提案)	御意見に対する考え方
<p>京都らしい純和風の景観づくりを</p> <p>1件</p> <p>〔 ・ 純和風建造物しか建設できない「純和風建造物地区」の指定を 〕</p>	<p>「純和風建造物地区」の指定について、御提案いただきましたが、市においては、市街地のほぼ全域を風致地区、美観地区、美観形成地区又は建造物修景地区に指定しており、歴史的な建造物の多く存在する地区では、その町並みや伝統的な建造物との調和を図るなど、建築物の高さやデザイン基準等による規制を行い、地域ごとの景観特性を反映した景観づくりに取り組んでいる状況にあります。</p>

◆ その他

御意見の要旨(括弧内は主な具体的提案)	御意見に対する考え方
<p>生活の場での景観規制が必要</p> <p>1件</p> <p>〔 ・ 観光地以外の生活の場でも景観規制が必要では 〕</p>	<p>市において、良好な景観の形成のため、市内のほぼ全域で、地域の特性に応じた建築物の高さやデザイン基準による規制、屋外広告物の規制などとともに、地域の景観を構成する重要な要素となる建造物の保全に対する財政的支援などを実施している状況があります。</p> <p>「みんなでめざす10年後の姿」の2つ目において、それぞれの地域における景観の将来像を共有しながら独自の景観ルールを定めるなど、生活の場における景観を視点としたまちづくりについて記載しており、それらを進めるよう、推進施策5に記す市民とともに推進する具体的な取組が必要と考えます。</p>

<p>京都は規制が厳しすぎる。意味がない</p> <p>1件</p>	<p>市において、景観は、公共の財産であることをコンセプトの一つとして掲げ、建物の高さ規制の見直しや建物等のデザイン基準の見直しなどからなる新景観政策を、平成19年9月から実施している状況があります。</p> <p>基本方針に、「京都の個性や魅力の源は、歴史や文化であり、そしてそれらを表象する美しい景観である。」と記すとともに、「京都の景観を「守り」「育て」「創り」そしてこれらを「活かして」いくことにより、歴史都市・京都の魅力や価値が高まる」と記載しており、基本方針に基づいた具体的な推進施策の取組を進めることが必要と考えます。</p>
------------------------------------	--

道と緑

◆ 第1次案と同趣旨のもの

御意見の要旨(括弧内は主な具体的提案)	御意見に対する考え方
<p>市民が歩きやすい道路整備を</p> <p>1件</p> <p>〔・ 高齢者も歩きやすい道を〕</p>	<p>「基本方針」の中で、市民の視点に立った道路等の社会資本整備を目指すこととしております。</p>
<p>緑のネットワークをつくるべき</p> <p>3件</p> <p>〔・ 主な幹線道路を街路樹のオーナーを募り緑で埋めてはどうか ・ 寺社，大学周辺の環境を緑に ・ ウォーキングに適した道路がない〕</p>	<p>「みんなでめざす10年後の姿」の2つ目において、公園や道路の緑を市民・事業者・行政みんなが整備・維持管理を進めることや公園の緑や社寺等の緑による緑のネットワークの形成を目指すこととしております。</p>
<p>流域の視点を大切に</p> <p>1件</p> <p>〔・ 旧京北町合併に伴い、桂川流域の視点を大切に〕</p>	<p>「みんなでめざす10年後の姿」の2つ目において、市街地周辺部の山々や農地の緑と中心市街地の緑が、市内を貫流する河川により太い緑に軸で結ばれ、緑のネットワークの骨格を形成することを目指しております。</p>

〔意見要旨にある具体的な御提案内容については、具体的に事業等を進める中で検討すべき意見と考えます。〕

◆ 第2次案に反映しているもの

御意見の要旨(括弧内は主な具体的提案)	御意見に対する考え方
<p>道路交通機能の向上を</p> <p>11件</p> <p>〔・ 市外や郊外からのアクセスの向上が必要 ・ 太秦の道が狭くて困る ・ 阪神高速8号線，久世橋線2線，京都南JCTの早期建設を ・ 山科の渋滞緩和のため（三条通，国道1〕</p>	<p>推進施策1において、円滑な人の移動，物流を支える幹線道路ネットワークの整備推進，安全な道づくりについて記載しました。</p> <p>また，市外や郊外からのアクセスについてはご意見の趣旨に合致していると考えます。</p> <p>その他の具体的な個別事業については，今後事</p>

<p>号等) 市道御御陵六地藏線等の整備を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山科南部, 醍醐から大津 I C 等へ有料高速道路を利用しやすくしてほしい ・ 信号が多いなど交通施設や道路は無駄が多い ・ 歩車分離の信号機の設置を ・ 荷捌きトラック等が停まり危険 ・ 山科南 IC の設置を ・ 塩小路以南疎水の暗渠化, 幹線道路化を 	<p>業を進める中で改善策等を検討するとともに, 総合的な交通体系の構築や社会経済情勢等を勘案し, 必要性も含め, あり方を検討すべきと考えています。</p>
<p>公園を整備すべき 10件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの遊び場や公園整備を ・ スポーツができる場づくりを ・ 自然とふれ合え, 誰もが休める空間を ・ 円山公園の整備を 	<p>推進施策2において, 緑の創出も含めた公園の整備について記載しました。</p>
<p>まちなかでの緑の創出を 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パーキングの緑化を 	<p>推進施策2において, 市民・事業者の協働による, 生垣の整備や屋上緑化・壁面緑化推進について記載しました。</p>
<p>ヒートアイランド現象の緩和を 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遮熱性舗装, 保水性舗装の導入を 	<p>推進施策2において, ヒートアイランド現象緩和等に向けた道路や公園整備について記載しました。</p>
<p>公園施設や環境を充実, 改善すべき 2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園にゴミ箱の設置を ・ 公園の駐車場を無料に 	<p>推進施策3において, 京都の伝統的知恵を生かし, 道路や公園の清掃など京都市の財産である社会資本施設の維持管理を市民・事業者・行政が一体となって推進する点について記載しました。</p>
<p>道路の適切な補修や維持管理を 4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電柱や補修跡の継ぎはぎは歩きにくい ・ 歩道の傾斜が歩きにくい ・ 道路工事は年度末でなく計画的に ・ 地域による美しい道路の維持管理を 	<p>推進施策3において, 道路等の計画的かつ効率的な維持管理や, 道路の清掃など社会資本施設の維持管理を市民・事業者・行政が一体となって推進することについて記載しました。</p> <p>御提案の具体的な内容については, 今後具体的な事業を進める中で検討すべき意見と考えますが, 通行の支障となる電柱については, 移設による歩道の有効幅員確保の取組を引き続き進めていきます。</p>
<p>わかりやすい案内標識を 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通りや交差点名の表示を ・ 道に番号をつけて座標で表示を 	<p>推進施策4において, 魅力あるまちづくりの推進のため, 安心・安全な道づくりについて記載しました。</p> <p>御提案の具体的な内容については, よりわかりやすい案内表示を検討する「観光案内標識アップグレードプロジェクト」や現在地や目的地の方向情報を提供する「まちかどまっぷ」の整備など,</p>

	今後事業を進める中で検討すべきと考えます。
景観に配慮した道路空間づくりをすべき 2件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地幹線道路の舗装材の色、形状などを統一すべき ・ 道路付属構造物等への間伐材の利用を 	推進施策4において、魅力あるまちづくりの推進に向けた道路整備や市街地環境の創出について記載しました。
【意見要旨にある具体的な御提案内容については、具体的に事業等を進める中で検討すべき意見と考えます。】	

◆ 第1・2次案に反映していない意見

御意見の要旨(括弧内は主な具体的提案)	御意見に対する考え方
道路整備を中止すべき 1件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市道小山小宅線、新十条通、新大石道は建設しないでほしい 	推進施策1において、円滑な人の移動、物流を支える幹線道路ネットワークの整備推進について掲載しました。 御提案の路線については、本市の体系的かつ有機的な道路網の形成には整備が必要と考えます。

◆ その他

御意見の要旨(括弧内は主な具体的提案)	御意見に対する考え方
水族館整備不要・市民合意を 11件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水族館は必要ない ・ 海の無い京都に水族館は不要 ・ 梅小路公園はコミュニティ・交流の広場としての活用を ・ 緑が豊かなで落ち着く梅小路がよい ・ 水族館は無駄遣い ・ 周辺整備のお金を子ども達のために使うべき ・ 計画段階から市民意見を汲み取るべき、市民投票を ・ 水族館は低炭素のまちに逆行している 	<p>「豊かな森が豊かな海を育てる」という、森と海の連環した環境が重要視される中、「いのちの森」という自然の生態系を復元した梅小路公園に、新たに海洋環境を体感できる水族館という機能が備わることは、森と都市と海を一つのつながりのある環境として捉え、地球環境を考える絶好の機会になるものと考えます。</p> <p>梅小路公園の「芝生広場」や「いのちの森」などの主要部分については、水族館の設置によっても従来どおり使用でき、梅小路公園の交流機能が低下することはありません。</p> <p>子供たちが身近に海洋環境を体感できる施設はむしろ海のない内陸都市・京都にとって貴重なものであり、水族館という機能が加わることにより、岡崎公園に続く「総合公園」としての機能が増進し、梅小路公園の魅力が更に向上するとともに、公園を利用される方々の拡大が期待されるものと考えます。</p> <p>また、今回の水族館設置については、総合公園の一部の公園施設について、民間の資金とノウハ</p>

	<p>ウを取り入れて、公益の増進をはかるもので、設置・運営に当たっては、本市の新たな財政支出はなく、むしろ税収や使用料等の直接的財政効果が見込まれるほか、周辺地域へ経済波及効果も大きいものと考えます。</p>
<p>有料道路の料金改正等を 2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有料道路上限交通料金の設置を ・ 高速道路を距離に応じた課税を 	<p>高速道路の料金体系については、平成22年4月に国土交通省が「新たな上限制の導入を含めた料金制」として発表されたところであり、国会での議論を踏まえて、国土交通省として総合的に判断をするとされております。</p>